

かながわ人生100歳時代ネットワーク

「この指とまれプロジェクト」

「女子キャリアデザインプロジェクト」

「任意団体CanVas」

①団体概要

寄りどころ×試しどころ CanVas

VISION 「個が響きあう社会の実現」 MISSION 「将来に熱狂する中高生を増やす」

【開催時の様子】

「等身大の私」・高校生企画伴走



【活動概要】

自分を耕す土壌づくりのため、自己理解を深めるワークや対話を通し、価値観・好き・やりたい・興味関心・理想像・将来・生き方を探っていきます。

1対1の対話、さまざまな価値観に触れ、言葉にしていくことを大切に、少人数開催を重ねています。

対話イベント「等身大の私」・高校生企画伴走・女子キャリアデザインプロジェクト

【対象】

・中高生（下記ニーズ）

自分を知りたい、好きややりたいを見つけたい
相談できる場がない、自分で考えて行き詰った
いろいろな人と話したい、一歩踏み出したい

①団体概要



寄りどころ×試しどころ CanVas

「自分を知る・他者を知る」⇒「自分を探る・出会う・言葉にする」⇒「自分を耕す・試す」
自分を知り、深めながら、他者を知り、ともにひとつのものをつくる体験を通して、将来を描いていく

【入口イベント】

対話イベント「等身大の私」

大学生や社会人との対話を通して、考えていることやもやもやをひとつひとつ紐解いていく

【じっくり自己探求】

3ヶ月間プログラム

「女子キャリアデザインプロジェクト」など

3ヶ月間、ワークやメンター会を通してじっくりと自分と向き合う

【試してみる】

企画伴走

「高校生企画伴走事業」など

テーマを持って探究したり、イベントを企画・運営したりするなど、興味関心から挑戦をしてみる

【継続伴走】

メンター会（3ヶ月or 6ヶ月）・**オンライン対話会**（テーマ別対話・よろづ相談）・**進路などニーズ別伴走**

1対1で長期的に自分と向き合う時間、対話の機会をつくる。

他の人の考えや価値観に触れながら考えたい場合は、少人数のオンライン対話会へ。

①実施事業の概要



【課題】

①考える機会・相談できる人がいない（不登校・通信制高校に通っている高校生の声）

- ・スクーリングのタイミングだけでは先生に十分に相談できない。**進路のことなどを考えたり相談したりする時間がない。**
- ・自分でいろいろ考えたり、調べたりしているけれど、よくわからなくなってしまった。
- ・いろいろな人と話したい、経験したいとは思っているけれど**不安が大きくてなかなか一歩踏み出せない。**

②家族・親戚・先生の見えている世界しか知らない

- ・自分に**どのような選択肢があるのかあまりイメージできていない。**
- ・普段あまり進路や将来の話をしない。なかなか相談できない。
- ・友だち同士で話したいが、なんとなくためらってしまい、自分の中で行き詰ってしまう。

③進路面談だけでは深い部分を引き出す・考えることが難しい（教員の声）

- ・進路面談で方向性を考えたり、考える要素を出していくことはできているが、その生徒自身のことを深く聞いて、**将来や人生などと紐づけながら進路選択の選択肢を提示できていない**感覚がある。

①実施事業の概要



【ターゲット/ニーズ】

①自分を知りたい・好きややりたいことを探したい・将来を考えたい

- ・自分を知りたい、いろいろな人と話して深めたいと思っている中高生

②変わりたい・一歩踏み出したい

- ・今の自分を変えたい、違う環境に飛び込みたい、何かやってみたいと思っている中高生

③不登校・通信制高校に通っている

- ・相談したい、何かやってみたいと思っている、何かないか調べている中高生

⇒一歩踏み出せている、自分で何かに取り組んだり参加したりできている中高生や、まだ一歩踏み出したいと思ったり、その準備にまだ時間がかかる中高生に対しては、今は活動していません。

【理想像】

- ・ **自分を耕す土壌**（自分のことを言語化する・試してみて考えてまた試すができるようになっていく）ができる状態
- ・ **自分と向き合う方法、言葉にする方法を掴めており、それらを相談できる人がいる状態**

【解決策】

- ・ **じっくりと自分と向き合う時間・機会をつくる**（1日・3ヶ月、ワーク・対話などさまざまな形で）
- ・ 1対1で対話を重ねることによって、**相談できる関係性を構築**していく

①実施事業の概要



< 5 月 >

対面会

- 憧れから見えてくる私の大切なもの
- 好きを動詞にしてみよう
- 職業地図（身近な仕事を分解してみよう）
- TCLの考えを用いた疑似企画カードゲーム



メンター会

- オンラインで1対1で、対面会のワークを振り返り、ひとつひとつ深掘りしていく
- 自分が感じていること、気になることを言葉にしていきながら、自分に気づく時間にする
- 参加した理由から、ゴール状態を決める
- TCLの解説をしながら、自分から見る自分とメンターから見ての気づきとを重ね合わせて考える

様子

- 内側に抱えているものや考えていることを言葉にする難しさを感じながら、ひとつひとつ深掘り
- 書き出したことで、**より自分が悩んでいることやもやもやしていることが見えてきた**
- 最初は恐る恐るだった会話も、**回数を重ねる中で少しずつ自分の考えを言葉にしていけるようになった**



①実施事業の概要



< 6 月 >

対面会

- TCLの考えを用いた疑似企画カードゲーム
- 強み弱み変換、グラフマッピング
- 謎解きミッション
- 日常の疑問や課題感をテーマに、サービスや商品をつくっていくグループワーク



メンター会

- オンラインで1対1で、対面会のワークを振り返り、ひとつひとつ深掘りしていく
- TCLの解説をしながら、自分から見る自分とメンターから見ての気づきとを重ね合わせて考える
- 弱みや苦手だと思えることを視点を変えて、強みに言語化してみたものを、実際にどうか深掘りしていく
- グラフマッピングで書いたことをもとに、自分にあった環境は何かを探っていく

様子

- 違う視点や考え・強みを持ったメンバーで行ったことで、また**違う自分が引き出されたり、見えてきたりした**
- 考えを掛け合わせる楽しさも感じていた
- **お互いの考えを掛け合わせながら一つのものをつくることに夢中になっていた**



①実施事業の概要



< 7 月 >

対面会

- 日常の疑問や課題感をテーマに、サービスや商品をつくっていくグループワーク
- ワーク全体の振り返り
- 自分のコピーをつくってみよう



メンター会

- オンラインで1対1で、対面会のワークを振り返り、ひとつひとつ深掘りしていく
- 全体を振り返って、書き出してきたことや気づき、変化したことに関して、ひとつひとつ深掘りしていく
- 自分のコピーを考え、言葉がしっくりくるまで落とし込んでいく
- 気になることやもやもやを解消しながら、今後のアクションを考える

様子

- 今まで探ってきた、好き・価値観・こだわり・強みリーダーシップタイプを総括し、キーワードを書き出していく中で、**自分の変化を感じていた**
- 次に何をしたいか、何に挑戦してみたいか、何をしていくかを書き出すことができていた
- **自分なりの言葉で書き出し**、それぞれ独自のコピーをつくることができた



②事業の効果（成果）



【女子に特化したプログラムの効果】

心理的安全性の高い環境で自分と向き合い他者と価値観を共有する

- ① 女子だけの空間だからこそ、安心して自己開示ができる
- ② 話すことに慣れていない、言葉にするのが難しいという壁を越えやすい

【事業の効果】

自分の内側にあるものの言語化・将来の解像度の向上

①通信制の高校に通っている高校生の課題に対して

- ・進路のことを考える時間が少なく、先生に十分に相談できない環境で、自分で考えるには限界を感じていた。
- ・3ヶ月間自分と真剣に向き合い、**さまざまな視点で自分のことや将来のことを考えることができ、選択の幅が広がった**
- ・**相談できる人や学外のつながりを持つことができた**

②進路を考えること、結果としての変化

- ・3ヶ月間自分と真剣に向き合うことができたことで、**自分の好きや価値観がより鮮明になって、進路選択につなげられた**
- ・好きややりたいに自信が持てていなかったが、書き出したり対話したりしていく中で、何を大切にしたいかが見えて、考えられるようになった

③コミュニケーション・自分の想いや考えを伝えること、3ヶ月間の変化

- ・言葉にすることが難しかったり、自信が持てなかったりしたけれど、**少しずつ自分のことを言葉にして伝えられるようになってきた**
- ・参加者同士でひとつのものをつくるために話し合いをしていく中で、自分の強みや立ち回り方に気づくことができた



③事業全体の感想

【良かった点】

- ・霧が丘ぷらっとほーむさんでの開催によって、kiricafeに来られている方が参加につながった(地域開催により機会創出ができた)
- ・女子に特化するプログラムをつくるにあたって、提案・意見交換会を通して、女子に特化する意義の言語化・ブラッシュアップにつながった

【改善点】

- ・広報 : 地域のお店等へのチラシ掲示など、広く周知することでプログラムの認知を広げていきたい
- ・地域連携 : 今後、保護者の方にアプローチをすることも行っていきたい
- ・学校連携 : 近くの高校への提案では女子に特化していることが障壁になったが、通信制の高校や女子高校へのアプローチを進めたい

④事業の今後の展望

* 普段とは違う人と場所と時間が内側に眠る自分を引き出すきっかけに *

① 地域で3ヶ月のプログラム開催を継続(同年代・地域との関係が広がる)

⇒緑区or 青葉区

⇒メンター会などにつなげ、継続伴走していく仕組みを構築

② オリジナルコンテンツの開発と展開(自己理解を深めるカードゲーム)

⇒中高生の自己探求を日常に。全国に届けるためクラファン挑戦

③ プログラムのパッケージ化

⇒プログラムを確立し、メンター育成を行うことで、どこでもできる環境を整えていく

④ 男子特化のプログラムのニーズ調査・試験開催

⇒ニーズ調査を進め、トライしてみることを検討

